

研修企画

坪谷公認会計士事務所

研修企画の制作にあたって

今、我が国は大きく変化する環境下に置かれています。

会計面においては、国際会計基準（I F R S）が導入される予定ですし、税務面においても、税と保険料の一体化による消費税課税の見直しをはじめとする、根本的な改正が行われようとしています。

このような状況にあって、会計や税の基礎知識を学ぶことは、企業の経営環境を理解する上において必要不可欠といってもよろしいかと思えます。

坪谷公認会計士事務所では、企業向けの研修業務を行っております。この研修企画の中には、御社に必要な項目が必ずあるはずですので、ぜひ、ご検討のほどよろしくお願いいたします。

平成29年8月

坪谷公認会計士事務所 公認会計士・税理士 坪谷敏郎

目次－1

財務関連研修

- 1－1 簿記の基礎知識
- 1－2 簿記を楽しんでしまおう！簿記ゲーム
- 1－3 財務諸表の基礎知識
- 1－4 財務分析の基礎知識
- 1－5 キャッシュ・フロー分析講座

目次－2

税務関連研修

- 2－1 所得税の基礎知識
- 2－2 相続・贈与税の基礎知識
- 2－3 法人税の基礎知識
- 2－4 相続対策のあらまし
- 2－5 暮らしと税金
- 2－6 生命保険の税務知識（個人編、法人編）

目次－3

受験対策講座

- 3－1 銀行業務検定試験財務3級受験対策講座
- 3－2 銀行業務検定試験財務2級受験対策講座
- 3－3 銀行業務検定試験税務3級受験対策講座
- 3－4 銀行業務検定試験税務2級受験対策講座
- 3－5 日商簿記検定3級受験対策講座
- 3－6 日商簿記検定2級受験対策講座
- 3－7 F P 技能士2級受検対策講座

1-1 簿記の基礎知識

- 1 研修目的 簿記の基礎知識（日商簿記3級レベル）の理解
- 2 受講対象 簿記学習初心者
- 3 研修時間 7時間／日×2日間
- 4 カリキュラム

	第1日	第2日
午前	財務諸表の構造と関連 簿記一巡の手続き 商品売買	消耗品 貸倒れと貸倒引当金 固定資産と減価償却 租税公課と資本金 費用・収益の見越・繰延
午後	現金、当座、小口現金 手形 貸付金・借入金 有価証券 その他の債権・債務	決算整理仕訳 財務諸表の作成 《確認テスト》

- 5 テキスト 「簿記入門」（坪谷敏郎著、経済法令研究会）

1-2 簿記ゲーム

1 簿記ゲームの概要

簿記を初めて学ぶ人の中には、ハードルが高いと感じる人が多いと思います。

しかし、簿記が難しいと感じるのは、その知識レベルの高さに原因があるのではなく、普段使ったことのない簿記独特の用語が出てきたり、少し複雑な「簿記一巡の手続き」（決算書を作るまでの過程）を理解する必要があることに原因があります。

簿記を理解するためには、「習うより慣れる!」とよく言われます。これは、理屈をこねる前に、仕訳や決算書を作る練習を数多くこなせば、自然に簿記が理解できるということを言い表しています。しかし、初心者が独学で簿記を学習することを考えると、分からない用語につまずいて、簿記そのものが「つまらなく」なってしまいうことも事実です。もし、その過程が楽しければ、簿記の原理そのものは難しくないので、スムーズに簿記を理解できるはずです。

簿記ゲームは、ゲーム形式で簿記を理解してもらうことが目的です。原則として1チーム4～5人で会社を作り、その会社の取引を記録し、決算書を作成する作業を通じて簿記のしくみを理解してもらうからくりになっています。

2 簿記ゲームのルール

原則として、各チームのひとり（社長役）にカードを引いてもらい、そのカードに書かれていた取引を記録（仕訳）するところからゲームが始まります。取引には、商品・有価証券・土地の売買や、人件費・経費の支払、火事で建物が燃える、税務調査で税金を支払うなど、様々なものが含まれています。この取引は原則として現金の受払を伴います。したがって、手元にある現金が途中でなくなると、その会社は「倒産」になってしまいます。社長は手元の現金残高をにらみながらカードを引く必要があります。

チーム内の担当者が分担して、取引を仕訳し、それを最終的には決算書に集計する作業を行い、その決算結果を、ゲーム参加者の前でいかに早く報告するかも競い合います。

3 簿記ゲームの効果

簿記ゲームは、もちろん、楽しく簿記のしくみを理解してもらうことが第一の目的なのですが、それ以外に次の効果があります。

(1) キャッシュ・フローを理解できる。

ゲームの中では現金のやりとりがありますので、現金がなくなれば倒産です。しかし、倒産したときの損益計算書は立派な黒字になっている（いわゆる黒字倒産）という事態がひんぱんに発生します。まさに、「損益と収支のズレ」を実際に体験することができます。

(2) 固定費の意味を理解できる。

ゲームでは、每期一定の人件費・経費を支払わなければなりません。これらはいわゆる「固定費」です。それまでいくら現金を獲得しても、最後にその固定費分を準備できなければ、会社は倒産してしまいます。ゲームを通じて自然に固定費負担の重大さを理解できます。

(3) タイムリーディスクロージャーについて理解できる。

特に上場企業は、自らの決算書を早期に正確に公表する努めがあります。しかし、この考え方はたとえ中小企業であっても重要です。ゲームではただ単に正確に決算書を作成するだけではなく、「早く公表すること」も競いますので、このしくみのある程度理解できると思います。

(4) 本業重視の経営が理解できる。

ゲームでは、商品の売買を行う会社を想定しています。もちろんゲームなので、それ以外に土地や有価証券の売買を行うこともできるのですが（またその方がおもしろいのですが）、実は本業の商品売買をコツコツやった方が確実に儲かるしくみになっています。本業以外の不動産・有価証券投資が「ハイリスク・ハイリターン」であることが身に染みて分かります。

(5) 「札勘定」の練習になる。

ゲームで使用する現金は札勘定練習用の札を利用します。したがって、現金のやりとりをするつど札勘定を行うことになりますから、金融機関の新入行員等の皆様の練習にはぴったりです。

- 4 受講対象 簿記の基礎知識（1-1）受講修了者
- 5 実施人数 5名／班×6班程度（これ以上になると講師以外にインストラクターの補助が必要になります）。
- 6 研修時間 7時間
- 7 研修教材 「簿記ゲームセット」

1-3 財務諸表の基礎知識

- 1 研修目的 財務諸表に関する基本的な知識の理解
- 2 受講対象 簿記の基礎知識を有している方
- 3 研修時間 7時間/日×2日間
- 4 カリキュラム

	第1日目	第2日目
午前	財務諸表の構造と関連 連結財務諸表 流動資産と固定資産	繰延資産 負債の内容 引当金 退職給付会計
午後	金銭債権の評価 割引手形の表示 有価証券 棚卸資産 固定資産・減価償却 減損会計 《確認テスト①》	純資産の意義と内容 損益計算書 製造原価報告書 研究開発費・ソフトウェア 外貨換算 税効果会計 など 《確認テスト②》

1-4 財務分析の基礎知識

- 1 研修目的 財務諸表分析に関する基本的な知識の理解
- 2 受講対象 財務諸表の基礎知識を有している方
- 3 研修時間 7時間/日×2日間
- 4 カリキュラム

	第1日目	第2日目
午前	財務分析の目的と手法 収益性分析 ➤資本利益率	キャッシュ・フロー分析 ➤資金繰り表 ➤資金運用表
午後	➤損益分岐点分析 ➤利益増減分析 生産性分析 静態的安全性分析 《確認テスト①》	➤資金移動表 ➤キャッシュ・フロー計算書 ➤経常運転資金 ケーススタディ 《確認テスト②》

1-5 キャッシュ・フロー分析講座

- 1 研修目的 キャッシュ・フロー分析の実務への応用
- 2 受講対象 財務諸表分析の基礎知識を有している方
- 3 研修時間 7時間
- 4 カリキュラム

	研修内容
午前	資金3表の復習 ➤資金繰り表 ➤資金運用表 ➤資金移動表
午後	ケーススタディ 「Y社のつまずき」 「大沢商会の倒産」

2-1 所得税の基礎知識

- 1 研修目的 所得税の基礎知識の理解
- 2 受講対象 所得税を初めて学習する方
- 3 研修時間 7時間
- 4 カリキュラム

午前	午後
所得税とはどんな税金か 所得税の計算ステップ 損益通算 所得控除 利子所得 金融類似商品 配当所得 株式等の譲渡益に対する課税	不動産所得 譲渡所得（総合課税） 譲渡所得（分離課税） 固定資産の交換の特例 住宅借入金等特別控除 青色申告 保険金・年金の税金 《確認テスト》

2-2 相続税・贈与税の基礎知識

- 1 研修目的 相続税・贈与税の基礎知識の理解
- 2 受講対象 相続税・贈与税を初めて学習する方
- 3 研修時間 7時間/日×2日間
- 4 カリキュラム

	午前	午後
第1日目	<p>【相続税】</p> <ul style="list-style-type: none">➤相続の法律知識➤相続税の納税義務者➤相続税の課税対象財産➤生命保険金の非課税限度➤債務控除➤生前贈与加算➤未分割遺産の取扱い➤相続税の基礎控除➤配偶者の税額軽減	<ul style="list-style-type: none">➤相続税額の2割加算➤相続税額控除➤相続税の納税猶予制度➤相続税額の計算➤相続税の申告・納付 <p>【贈与税】</p> <ul style="list-style-type: none">➤贈与税の概要➤贈与税の課税対象財産➤贈与税の配偶者控除

	午前	午後
第2日目	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 相続時精算課税制度 ➤ 住宅取得資金にかかる贈与税の非課税制度 ➤ 非上場株式にかかる相続税の納税猶予制度 【財産の相続税評価】 ➤ 宅地 ➤ 借地権・貸宅地 ➤ 貸家建付地 ➤ 小規模宅地等の評価減の特例 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 上場株式 ➤ 気配相場のある株式 ➤ 取引相場のない株式 ➤ 公社債等 <p>《確認テスト》</p>

2-3 法人税の基礎知識

- 1 研修目的 法人税の基礎知識の理解
- 2 受講対象 財務諸表の基礎知識のある方
- 3 研修時間 7時間
- 4 カリキュラム

午前	午後
法人税の納税義務 同族会社 当期純利益と課税所得 受取配当等の益金不算入 貸倒損失と貸倒引当金 有価証券	固定資産と減価償却 圧縮記帳 繰延資産 役員給与 租税公課 寄附金 交際費等 《確認テスト》

2-4 相続対策のあらまし

- 1 研修目的 相続対策の考え方の理解
- 2 受講対象 相続・贈与税の基礎知識のある方
- 3 研修時間 7時間
- 4 カリキュラム

午前	午後
相続対策の3本柱 まず現状を知る 灰色対策はやめた方がよい 相続対策のパターン 生前贈与	土地の有効活用 生命保険の活用 養子縁組の活用 自社株対策 ケーススタディ

2-5 暮らしと税金

- 1 研修目的 個人の税金に関する概要の理解
- 2 受講対象 税金を初めて学習する方
- 3 研修時間 4時間
- 4 カリキュラム
 - (1) 税の基礎知識
 - ① 所得税のしくみ
 - ② 記帳や記録保存・青色申告
 - ③ 消費税のしくみ
 - (2) 給与所得者と税
 - ① 給与所得者と税
 - ② 夫婦と税（パートと税）
 - ③ 退職金と税

(3) 暮らしの中の税

- ① 医療費を支払ったとき
- ② 保険と税
- ③ 寄附金を支払ったとき
- ④ 災害等にあつたとき
- ⑤ 株式と税
- ⑥ 利子や配当と税

(4) 不動産と税、贈与・相続と税

- ① マイホームを持ったとき
- ② 土地や建物を売ったとき
- ③ 財産をもらったとき
- ④ 財産を相続したとき

(5) 申告と納税

(注) 上記のテーマから、時間に合わせて適当なものを取捨選択し、解説することも可能です。

2-6 生命保険の税務知識

1 研修目的 生命保険に関する税の取扱いの理解

2 受講対象 生命保険営業担当者

3 研修時間 4時間

4 カリキュラム

すべて事例（Q & A）方式によって、税の取扱いを検討します。

（質問の具体例）

(1) 個人編

Q 1 会社が保険料を負担していた死亡保険金を遺族が受け取った場合には、どのような税金がかかるのですか？

Q 2 私の父は、母を被保険者とし、契約者・保険金受取人を父とする養老保険をかけていましたが、先日父が亡くなりました。この生命保険契約に関し、相続税が課されることはあるのでしょうか？

Q 3 先日私の父が亡くなりましたが、父には債務が相当あります。ところで、父は自分に生命保険をかけており、その結果このたび死亡保険金が私に5,000万円入るのですが、この生命保険金が父の債権者に差し押さえられてしまうことはないのでしょうか？

Q 4 生命保険料控除の申告を忘れた場合には、何年前までさかのぼって所得税の還付を請求できるのですか？

Q 5 生命保険の配当金を受け取ったときの課税関係はどのようになるのですか？

(2) 法人編

Q 1 受取人を被保険者の遺族とする定期保険・長期平準定期保険・逡増定期保険の保険料に関する税務上の取扱いはどのようになりますか？

Q 2 2分の1が損金算入できる養老保険に加入すると、結果的に節税になると聞きましたが、それはどのような仕組みによるものですか？

Q 3 満期保険金受取人を被保険者、死亡保険金受取人を被保険者の遺族とする養老保険の保険料は税務上どのように取り扱われますか？

Q 4 保険金を収益に計上すべき時期はいつなのでしょう？

Q 5 弊社では、役員退職金支給に備えて、契約者および保険金受取人：会社、被保険者：役員の定期付養老保険に加入しております。実際に役員が退職し、退職金を支給する場合に特に気を付けなければならないことはありますか？